うな時代です。飛行機だけにで

のだから決してむだにしてはい 若い時はただ一度だけしかない

つきなくするのです。

青年時代は望いものである。

語をされました。 先生は次のような

けないしと

ト」が入りこんでいるような人はこれらの劇歌の強いものが率っとはしなかつたのです」。そに使つて下さい。

でありますが、父兄や先生が如何 情は敦育の要件として非常に大切 が最も大切でありましょうか。疑 切でありましようが、そのどちら 意味であります。勿論どちらも大

子供に対しておとなば権威が絶

いように、みなざんも毎日人生

でも現京や大阪にはそんな人が

高い所へ登るにはいつもはし

がおります。特にニューヨーク

意見、質問、批判を求めた。これ

満帰の監督などの活動についての

めに現在の生徒評談員の静設及び

ある」と説明した。

あつた事と、生徒会がその利益に

生徒会の中に瞬質部が設けられ

ていつた方がより効果があると思 するよりも個人個人に注意を与え

次に会計製告に入り三巻会計は

の沙みを一歩一歩と続けていまずいぶんとたくさん居ります。

生症の中にもこのような落つき が、一人の男の子がその田に云

れんな鳥遊などを、多くのもの

な音楽や、されいな草花や、

か

愛情に溺れるな

教育上の權威に

がある。密いひとびとはこれら

百姓がいます。そこでの話です

をもつ人もあるでしようが、そ す。みたさんの中には大きた志

在の毎日毎日であります。私が 和老温成するのに必要なのは現

> せつかちな気分は空を飛ぶジエ のない人がいます。つまりこの

> 若い時にはラジオも電気も映画 いました。「お母さんあなたの

ツト機だけにではなく、みなざる自動車もありませんでしたね

よつて、自分速を求める虚福が のものを辞かに見つめることに

みたされるのであると話しまし

んのように学校へ 行つていた時ある

毎日を有効に

アメリカでみなざ

つて今までの生征会の活動及び呼

た場合生徳への注意の方法に就い であるべき場所でやかましくなつ 動を展開した、その中で特に静泉 々な面に於ける自重、積極的な行

て例えば「全体に大きな声で注意

問員会の経過を報告した。

に入つた。最初に杉本副会長が立 がとうの後、経過報告と会計報告

Ė

口

總

と会ははじめられ、一同天使祝回

まず高島会長の期会宣言によつ一に対し会員中からは、呼流員の色

関する諸問題を議題として熱心な討論が行われた

第五回生起線会は十六日午後二時卅分から本校贈繳で高島会長が

説長となって

調かれ

校内に

於ける

静粛と

滑掃の

問題及び

脈質部

に

0311

黑 中 些 校 洛星中学校新聞部

して生徒を罰するということでは る」との発言があった。 に作り上げて行く一つの手肉であ の学校と生徒会をより立派なもの ない生徒を引上げる事によつて此 なくてむしろ全体との形調の合わ

に小沢先生から「そうする事は決

一心うちきられた。

続いて第二の議園に入り、購買

お祈りがあつて午後四時四十分、

けようとしているのは、今言つた

私還が御子弟達に良い管恒をつ | 両親や先生の責任であります。

とこに全談事を終了し閉会の前の

前者の問題は目下検討中であると 来具合の点数をつける事に就いて て一時緊張した空気が流れたが、 と総会との関係についての質問や一ンとひきかえに金を払うのは非徳 出なかつた。然しその後評議員会 発言が集中されたが大した問題は 呼騰自奏傍聴させよ等の衆見が出 清掃の問題に就いては清掃の出

生的だと述べられてこれに類似す れ、A食、B食、〇食、D食等に 問題を指摘して手を洗つた後にパ とれについて特に三年生が衛生の 販売方法についての発言を求め、 て雪疑応答があつた。次に職長は はまずパンの申込方法から始めら

て行われる。

パンの領領を限定したことについ。国会で更に検討を加えることにな 部の色々な問題を取扱つた。問題 つた。 尚細目事項に関しては、生観評談 じた。 二時間に余る総会はことに幕を閉

夏休みは とあります。私達は習慣によつて ととに対してであります。明書の まゆがめられたままに成長する」 といつております。丁度歌がなわ の診にも「人は習慣の束である」 中にも「ゆがめられた木はそのま」切、自己犠牲、柔和、級耐その他 左右されるものであります。英国

田で許されないとの答弁があつて一に関する発言が少しあつたのみで一ちある。 後、バンを食べることについての る意見が相当数出た。最後に放映 十一日までの約四十日間にわたつ 可休みは七月二十一日から八月二 遊は例年の線に十二、三日頃か 尚、本年度第一学期の学期末考 二十一日 から ります。子供の習慣のよしあしは でくくられているようなものであ

想 本年度父兄會出席率98 格 築 け %

校長說示(要旨)

たのは、生徒の中から強い要認が一う」等の建設的な意見も出され今 続いて誤事に入り、 議長ははじが とれに対して副会長は「個人的」の調査でありました。 観査した結 後の評議員の活動に非常によい参一す。その本は歴史的に有名な成功 に、呼祗員会に呼んで注意を促す は二つの点にまとめることができ 果、彼等が共通に持つているもの いる共通点を見出だそうとする為 を築きあげる為には宗教と則音は一す。このような人は実際に将来と せられた競粉を果し、理想の人格ままにさせて顧みない人がありま

考となつた。又特にさわがしい生

從は懲罰を行えという意見も出た

ごを一般一般と登らねばならな。 やシカゴのような大都会、日本 持つようになっています。アメ والمارة والمعارية والمعارة والمعارية リカの西部には非常に貧しいお 福をたらすとまちがつた考えを は目下検討中である」旨を説明題「るのであります。その一つは、一 様に致ずつもりで、此事に関して めました。世の中には斃くしい 友情や、調和ある自然や、高尚 れから田は次のよな説明をはじ

はなくて人山の中にも「ジエツ」はありませんが、それらの人造やその他のもので刺激を求めよ 近頃は全く「ジェット」のよ。強い色彩の脚盤とを好む人達がした。「私達は貧乏だとは思つ います。アメリカでもすべてでていませんでした。私遺は映画 んの心の中にもはいりこんで落 お田さんは貧乏だつたそうです ものすどいスピードと暗騒とすか」と母はほほえんで云いま がなにを楽しみにしていたので オフィト とにじゆうぶん気をつけて巧み 時間完みなざんはこのようなと ます。しかしそれ以外の自由な みなさんにかなり忙しいと思い いと思います。学校においても し、楽しむようにしてもらいた に、周囲にある良いものを隠賞 らなのです。みなざんは目ごと なさんに落ついてもらいたいか 今との話をしたのは、私がみ

兄あるいは教育者の主体性というかに示すのではないでしようか。一て正しい事を行わせるとしてもそ

敦音学者は子供に対して総威を得

れは子供の自由にそむくとは絶対

いるのや下が向いているのや、

すが、その第一は子供に対して確一して、子供が自由の本当の意味を

るのに多くの純告を与えておりました云えません。むしろこのように

固たる態度をとることであります。」さとるように援助するのでありま

ン公が数十羽、図画室に不死の

いのや、どうかすると極色の力

口をあけて明んでいるのや、思

いのちを生きつづけている。

ります。ここで極威というのは父は不充分であるということを明ら

かということはよく議論されてお一敗に終るのは、教育が疑情だけで

もありません。従っておとなの父

留するような行為をやる何の権利 がままな行儀で自分自身の人格を

ことはかなしい。

兄や先生はそんな行為をやめさせ

か、そのどちらがより重要である

つまり受情があつても、教育が失 けさせることが出来るでしょうか

もつてするか、受情をもつてする

選成する為に子供に対して権威を うして子供達によい習慣を身につ

少年教育に関して、所期の目的を一ちせるととが出来ないならば、ど

もし子供達に自分の云いつけを守っそれは決して子供の自由を拘束す

るととにはなりません。

例え子供の場合にも不続切なわ

に深く子供を疑しておろうとも、一対に必要であると強調しますが、

育主任說示(要旨)

好調のスタートを含つている。

生従会の開買部は去る六月一日

なお間質部では生徒の展盤にと ことは確実であるとみられる。 ば今月一ばいで二万円を越える 五百六円を示し、この分でいけ

生徒会瞬員部は二十一日現在一万

生徒会購買部スタートは好調

万五千円

五千六百五円五十銭の利益をあげ

著のお父さんやお田さんが持つて一との事柄については父兄の方々は一ないでありましよう。 味ある本が出版されたのでありま一が例外なしに嵌しいしつけを施と一分の子供達の訓育を怠つた為にま よほど前にアメリカで一冊の興一ととと、もう一つは、彼等の全て一きないのです。場合によっては自 前後を示しており、父兄の方々の本校に対する関心の高さをあらわしている。 すぐに理解されてこれに同意して 下さることと思います。私達に課なことを避ける為に子供を勝手気 していたというととであります。一ねいた結果に自ら苦しまねばなら 精神的な価値を充分理解している。

報達はひとの同情を得ることがで つの宗教に深い信仰をあつていてくことがあります。とのような問 また両親の中にはいろいろ面倒

不平を借っているのをしばしば聞ります。 ある人は自分の子供についての した時にその結果がわかるのであ 一派なもので、 応々に内容の 元実を 子供達がふしだらに気ままに成長

第三回交兄会は八日、十五日、二十二日の三日間にわたつておとなわれた。なお、出席率は88% は父兄会などもあつて予想以上 礎確立との為に発足したが、連 二十一日現在の総売上高は八万 日六百個前後のパンと七十本以 七十三本の売上を示している。 六千九百十二個、牛乳&千六百 によく売れ、パンだけでも合計 上の牛乳を含ばいている。今月 七千六百五円、利益も一万五千 理科室完成

以要欠くべからざるものでありま。

まることを求めているのであって

しれることとなった。

この理科館は 床は全部間のタイル限りという立 完成し、今後理科の時間に使用さ はかるという。 望の理科室は去る十五日

生徒の疑蹈と生徒会の財政的描 たえでバンの種類を変え、又新 しい申込方法を、二十一日から 高校進學

は無條件

徒の洛星高校進学に関する諸事項 本年度の三年生の父兄会で本校生 が明らかにされた。

それによると本校生徒は本校を 全科目の平均点が六十点以下の 卒業すれば、無条件で洛里高校 尚、高校に於ける敦科は万全を せられることになった。 点以下のものが三科目以上ある 者、又は主要科目(英語、社会 期するという。 **温料、图器、数学**)中、五十五 への進学が許可される。但し、

1000 de

カン公死す

死んだ。いのちあるものが死ぬ 斎藤先生のカラス。通称カン公 しかし今日もまた、上を向いて のモデルになるために、との世 先後約三ケ月。まるで本校生徒 は去る六月十八日(金)、突然 にあらわれたかのような一生。

学術參考書 洋書 貨 雜 文 具

ESTABLISHED 河原町蛸藥師 IN 1869 TEL 2-2161番

丸 株式会社

会・基本図書館協

の徳を学ぶことができるのである

るのを学ぶように、また従順、親 遠が歩んだり読んだり書いたりす

これらの道徳をみんなが実行する

交博 村

るでしよう。人のことろの中に起 ならば、まことに良い世の中とな

なるにちがいないのであります。 福が宿る時、世の中は全く摩福と

11, 口 林林

池

京 都

御

TEL②三九三五

善

山一伊東一條禪寺溫

伊東一元村港一三原

なかつた。唯だぼうとかすんだ船

荒れた。前方はかすんで何も見え まるで学のひらでもてあそぶ様に

が一そう見える様に思われた。

板を貼けまわる者もいた。しかし

した。中には喜びの声を上げて甲

民

島影が見えた。私達は勇気百倍

日第日三

みんなだまつている。

士の雄姿

海は帰れた。四百トン位の船は

までにとれほど母近に大自然の力

頭りたくない。船の上でこんなと

とも考えたことがあつた。この部

へ飛びこんで死んだ方がましだと

なんて弱いのだろうと思つた。今

本盛じたことはなかつた。

がうずくまつている様にとげ茶色

た。一面に夏草が築つて、草原の そこことにたくましい野生の維牛

パスは富士の西語野を走つてい

朝霧高原

-紅葉台-河口湖

日第日一

富士縣一菱絲場一白 糸港—精逸湖 - 風穴 い他野老ひいてそびえていた。 つた。灰色の空に富士ははてした ブールが幾つもある。小さい二

の影響が脳出していた。草原は広一である。手条伸はしたらすぐつか めそうだ。 たりしている。デモをしている様 のすどくいる。又別の池では口に じやあつちへ行つたりとつちへ来 谐のはえた腹の赤いのがうじやう つているのでどこに魚がいるのか わからない。しかし目をとらして ・三センチ位の傾がいる水面が光 見ていると思い固りに見える程も い。あたたかい。いや一日前の弁 行差している。問題のものは智な 当があたたかいはずはない。しか て来て弁当を食べはじめる。うま 僕に無関係である。如らん顔をし ている。至つて冷静である。しか

白条の確からパスにゆられて約 当

し弁当だけはあたたかつた。その

やせた乳牛が二面草を喰べている く維大でゆっく傾斜をなしている

中からとりあげ、とこに知と 私達の一生の思い出である修 うか。それを三年生の作文の に本学びなにを回じたである ある修学旅行を終つたことと それぞれの土地に残して意義 ひろげた。連日晴天に恵まれ 十九日までの四日間、富士玉 して綴つてみた。以下は修 さてみんなこの修学旅行でな 何か楽しい想い出である。 思う。今から思うと、あの普 伊豆大岛、鹿に修禅寺、沼津 初、箱根をめぐり、伊東から 学旅行は五月二十五百から二 マである。 「元」の思い出の一コマ、一コ しかつた大闘への船旅でさえ みんなはそれぞれの思い出来 に至る酸雌な日程の下にくり

三津濱から見た富

| 冠たおとめて・風は少し冷たか | 一時間、前面がパツと開ける。本一つばいしみとんでいる。弁当を食 | 暴い。二本群あるきれいな円柱が もいえ似いいにおおいが自を削強 おろす。弁当包みを開ける。何と一親、その他の胸身や故郷の人々の する。附近の茶屋から茶をもらつ 往底がある。そして解散。性んな、表通つている様な感じがした。我 柳淵であるバスから降りて生生の

べてしばらくしてもまだ飯がのど

ろうそくの光に鈍く光る。 親切さをしみじみ感じさせられる ものである。

弁当にはあたたかい田の気持がい一声が岩にがんがんひびいて気味が し何だかあたたかつた。僕に今旅のある。たつた五米経下なのに、先った権々の海、まさに樹海である 寒気が身にしみる。巾は広いが処え陽を浴びて白く銀色に輝いて二 々天井の低い所がある。一時の話し ーターを错ているのに中に入ると に降りた者の息が白く見える。セ っている。そとまで暗敗が作って 五米程下の所から耐欠が横にな 風 穴

それがずつと遠くまでひろがつて 全く心をらばわれた。一面に広が 自然の作大な力を誤喚せざるを得 ろうというた。 に落ちていつてもなにかふかふか 枚の鏡が置いてある様である。大 本柄、精進の消が満々と水をたた 事を忘れてしまつて美しい光景に ない程美しい眺めである。あの中 した所に落ちる様な織じがするだ 下を見下したとたんに一さいの

河口湖から

につき出た松の山が鏡の椋な水面 方に島がある。向うの小さな半品 差釣つている。何んという魚か知 の様な短岩の上に立つて、人が魚 にその姿を写している。ピフテキ の先にぶら下つている。 らないが観白の腹をくねらせて糸 おれた肝の中が狭くなっていて一 別は真中でおれたような形になり が吸いこまれそうな青さだ。河口 ボートから水を見る。自分の体

雷

える。恐怖が感じられる。 にすどい山だ。生きている線に思 いるのではないかと思う。たしか い国の高い山がかすんで見えて 日本の山でない様な気がする。

がする。もう二度とあん

太船には、

」より

誤い、

牛がっないであってめに、

始岩の積んであるのが少し 新鮮な盛じがする。コップに一ば い。口にあぶら気がのとる。 いが二十円だからまんざら悪くな 看板にしばりたてと書いてあつて

れた聞へくると、それが一層特に 中でアンコが大島節などを唄つて の想いにかられる。陸地からはな しみる。とうてい、この感じは外 雲が低く傾らは雲の中にはいる。 て風がひどい。帽子がとびそうだ ずだらけた。火口が近づくにつれ一登っていく。 煙か雲が判断しにくい。 **給岩の上をあるく。靴の先がき** Ξ てよくわからなかつた。あつちこ

大島の牛乳は大変濃い。「ホモー輸出に登つたが、あいにく雲のた一た。 ろうかと楽しみにして苦心して内一つていた。僕はなんだかこわかつ「りゆうにむいた村だ、大きくなつ」又ねかりかけた。よつほどつかれ 火口はどんなになっているのだ。一音をたてて。蒸気やけむりがあがだ。静かな町だ、山中の村でとう つちの密岩の回からはぶくぶくと

僕の腹の中がへんになってきた。 である。 自然の力と比べて人間は

回にフィか上思われる程傾いた。

然の力の大きさにおどろくばかり 何も考えたくなかつた。ただ大白 た。もう生きた心地もしなかった

本波が船べりを洗りごとにひやひ

」という語が全くあてはまるよう

国人にはわかるまいと思つた。

乳

やしながら、やつと……

地面がまだゆれているような気

彼はだんだん大きくなり船は水

は松平木の流く道が見えた。大路

かり手をまきつけてうつむいてい一あの山のような「どとうさかまく によってしまった。手すりにしった路に私達はついに到着したのだ れそうになった。今はもう全く船一力さえも与えなかった。感く忘し

万に初高がかすんで見えた。右に

海が見たくて甲板に出た。左前

大島への船旅

くにゆれ、その度にベンチから離れた私の小さな内臓は私を動かす

くれた。民謡を聞くといつも京郷

バスで三原山の外輪山へ登る途

始は木の葉のように左右にひど一私は動けなかつた。いためつけら

は見んない。

熱海一伊東 湖一元編根一十国峠 殿場―長尾峠―声ノ 河口湖一山中湖一御

底にまでしみわたる。天国への階 題したがらバスは馬力をかけて坂 阪売登つて行く様である。 れ、美しいウグイズ嬢の声が心の くる。すがすがしい空気は車に沿 ンクリートの選が前から次から次 時には新緑の下を、富士を右に展 へととちらへ目がけて突き進んで一右に左に新緑が嗅くしい。右側は 道を庇けの伝る。白い幾千尺のコー所ではしずかに最色を眺めている 河口湖から納くドライヴウエイ

の大名になった様な気もする。 クリートの広い立派な道をなんの ある。とれに比べると残々はコン つたのと疑われるほど質別な路で 晋もなく進んでいる。何千万石取 ととを何十万石取りの大名が通 東 海

- トのエンジンだけであつた。宮 スフアルトの白い道がつづいてい ひびいているのはモーター・ボーラかと疑うほど目のとどく限りア た。どこまでも続いているのだろ のゆれがさつ含と大分小さくなつ さすがは有料道路だけある。車

|フウフウ膏いながら頂上の火口へ| つかしくなる。暗い夜道をぬつて 畑れてるなあと感じただけにすぎ 雲がかかつている。何か不吉なそ 早や農家の窓々には点々と灯がと る。前方に三原山の頂上が見える して不安を感じがする。みんなは一もつて、何んとなく故郷の灯がな 硫火口はあたり一直路に包まれ 目の前に密岩の隙がひらけてく た事を改めて覚える。美しいうぐ がら進んでゆく。所々の谷川には わつていた。 いす銀の声に聞きばれている間に る山道をバスは左へ右へまわりな むく頃であつた。木々のおいしげ 修業寺についたのは八時を少しま わさびが植えてあって、伊豆へ来

てひまがあつたらとうりゆうにいしていたと見える。 真中に河が流れて気持のいい町

ずつと上の大きな協岩の上に隠を一ると、ふだんあまり感じなかつた一いて、天井からはつららが下って一いた。いつ現われたのかうすい観一つける一種の彫力があるのだろう 思い思いの方向へ散る。僕は河の一々が旅行をして錦元から遠く離れ一一歩一歩進んだ。地は次がはつて一く頂上には二・三筋の雲をひいて一がわかつた。高い山には人をひき 情遠に手に手にろうそくを誇ち 一ザクと山が出ていた。山全体は青 一山家が普労して高い山に登る気持 なモーターポートに乗つていると、けに図書た。 が中腹をおおり所であつた。皆ん 人自人 紀東 「富士はいい。」。暗だこの一語だ

> 分位つづけさまに泳いだが、なに こんだ。はじめは面白いから三十

藉

、程度である。ダバダバツと飛び

温度は普通の原呂よりも少し低

温泉フー

IL

しろあついからの間せて囲が痛く

続いていたが、右側には肌々ザクいつまでみてもあきなかつた。登 土山を見た。左側はずつと裾野が一とも忘れ一心に山を見つめていた

たかの様に進んでいつた。

いる。倭遠は新しい洞窟を見つけ

日第日二

とかっ

なる。少し休んで交ダバツととび

りになる。立板に水を流したよう じめる。そんなことはわかつてい じざいます」とウグイスが鳴きは 無い。先きの先きまで見える。 る。もう左右の視野をはばむ物は ると云つてやりたいほど、耳ざわ 「語言ま、これが有名な十国峠で もおとられないし、先生だからと

に、含れ目がない。そりや職業だ 後に見えていた官士が石に留をい と揺れて大きく左へカーヴした。 山々が盛りあがつてうねりのよう んをふせたような草だけの小さい 斜面になってほこんぼこんとおわっ からというかも知れ次が、こんな 方がいくらよいかわからない。 ただいてゆらゆうとそびえ出した一しかつた。 の背と一緒になる。パスがぐらつ に見える。それがずつと続いて空 みんな同じ様な物だつたのでおか うに国を励かしていた。宿に戻つ がら石径左往していた。そして皆 そうも白とりどりに、声を立てな たりした。孤泉の湯は少し塩から いつて、えんりよしないでいたす てめいめい土産を聞いた。すると んな思い思いの質物にいそがしそ た夜のアスファルトの道路に写し ミネーションも鮮かに、水を行つ のほせるのであがつてすずんでい あつた。隔に長く入つていると、 で水をかけたり、帝際先生を沈め らした。皆で小沢先生にシャワー く弱の出口は岩で滝のようにして ていた。それにもまして人々の服 に容やかなこの店の内外はイル to

文文

房

00

食料品罐店

日第日四

修禪寺溫泉一三津濱 一つたらと思う。

一沼津一京都聯 禪寺

津

修神寺へむかつたのは日も西に順 思い出残る湯の町母東光後に、 んでいる……。 くと、とびはなれて向うの方で浮 鳥で十羽程群れていて船がちかづ にちどりをみる。黄と黒の小さい に美しく、絵で見るとおりの形を つてその間から見る富士はまこと している。遊覧船で七分、波の上 近くに淡岛という一つの島があ

むつていたのかははつきりしない も、自分でも寒ていたのか眼をつ なの話しを聞いている時の気分は じめた。汽車にゆられながら増ん なんともいえない。「富士山や」 と言われて目がさめた。と言うて そのうちに僕もウトウトとしは

様の 皆

番面白かつた。いくらさわいで 伊東の温泉プールは旅行の中で

朱

円町上ル東側

風 軒

EL@-五三三三 星 学校 門 前旬

樂 符 F 屋 楽器店 1 三条寺町東入 コ 屬 電②-575.5466 1:

ツの花形として将来の高校野球の

ツブざれる。

彼は多くの部目の中にあつて最も 棒頭さが先決問題だろう。

運動部めぐ

0

年生にら点、

ツテ来たように思りが、スポー

生当時から比べてみると、マト 力もすぐれ、緊寒なしぶい当りを いのだが。将来の街道は今後の練師主 エン 立口 特に今年一年生から新しく、体 景をのばしていかたければならな

みせる川陽が大喜く、クローズア 署如何によつて、徳分軽くはなる

が、それぞれ一人一人の自覚と心

部から今年移鰤した地田、沢山。

一年生では町野、今井、一年生曜

前、田中亭、中川益、山崎。野塚

快音に部みるツバスを多く持つだ

いと分散するおそれがある。しか

比較的オトナシイ、熱心な人材

多路にているから仲ぴる可能性は

(3)

展、それに、クサイ存在い獨原、

竹小さいが谷口、千秋、絃本、森 が不充分で、まだ土台が出来てい てから、最近まで、一般と語語な

金体にみて、欠限り基本的な鎮密

テイームは去生の大会で三位を得 三年生がほとんどといわれるとの

初空中学と対戦する話が出来てい

に有限視される。最近、となりの 遊得でいるので努力次額では次い チに前田先生、丸山先生の御悶人 サッパリ屋ティームである。コー ると小世帯で、コジンマリとした

州男のリードに、投手として第一

期待されるわがハンドボール部

勝の質状をうけるわがハンドボール部佐竹主将。 場までの経過と、その予想をことにまとめてみた。=写真は機 滋大会には晴れの京都代表として出場する。そこで京滋大会出 あA(三年生)B(三年生、一年生)2チイームが出場しAテ 五月二十九日、三十日月ノ輪中学校で行われ、わが洛屈中学校 京都市中学校ハンドボール容季大会繁京惣大会京都予選は去る イームは輝く優勝をとげた。そして来る二十七日に行われる京

▽二十九日(古)PM二、○○ 過

町山野 永田沼頭佐 宮奥小中中野勝山 原田 島縣 川野寺博哲 マネージャー 春木、Cは主将

同じく中村街の一本をレフトウイ コーナーに決つたのは見事だつた ンプシュートがフラフラと、本も たざ出した中村博のセンタージャー **磐戦である。** 特に本日の得点をた に決めつけたのも天晴れだつた。 ステップには試合経験と落ちつき 田のジャックル、小寺のオーバー しては上出来であった。なお目加 ゴールキーパー町野もよく相手の たのは敗れただけに惜しまれる。 なロングシュートが高目にはづれ ヤンスがおとつれたが奥野の独自 何延長戦に入つてからしばしばチ ングよりノーマークで、コーナー シュートをとめていたが初試合に 初戦、練営三日にしては 時にはメンバー、ポジション本変 (冗談ではないが、大勝している) 爾明のこととて、前間が除つていっされている。

▽三十日(日)人が九、〇〇 洛耳人115-00月八翰 洛州人后(4-0)公澳

組合せがスムースに進まず、折角

ると、「ああ今日も父駄目か…」

も、ややアクビしている状態であ

ないので余計に頭をひねる)

マーしかし、何といつても、中

型り切つて開窓を燃やで調手諸君

写真本校理事長杯 学一、二、三年そろつた本大会は

ームワークを計りつつ、個々の技器めているととろである。

主将奥山をセンターにおいて、フ

アイト人一倍の西田幸を筆頭に大

栄誉ではないか。

Aメンバー 村田口枝 鵬山越総光竹口本拓見 治別A8 4-2 4馬ノ森

野禪田大林覺中흻三途佐行広山鷲 からよく健康して決勝戦にのぞん 修学旅行船朝、第一発目一を得たその喜びは、一人のみであ ろうか。

だのは、どうみても強い間志た。

提は三等、設閣、会光のセンター

行と汗の目を拭いながら鳴う顔と

無量なものがよみがえつてくる。 表と来る二十七日に対戦する栄養 都代表として弱抜され、強強県代 マかくして、第一回親慈試合の京 を想い起してみると、矢眼り際既 今野やく容びを胸にした時、表情

だが決勝直前にFWが打つたシューコチナサがみられるが、闖子さえ トが右に左にスパリズバリと文一よければ何とかいけそうである。 てくれるFBの津田(チョット・

ネルをやつて、級計のヤリクリが ちつ音がみえてきたが、時々トン 中村博、一年生組唯一点の西島、 ートに穏差はずす田口のカツトは ファイトがない)と、相手のシュ 失だろう。それに二年生組の小型

わけではないがまたおもしろい) ユート、絵の奥込み、それに向ウ 全体として、FWの間にパックの 又学生スポーツを真に愛好するも をすすめていくことが残された郷 で、これ以上のリキを要求するの一け得点をあげるか、やや一線攻撃一していくかが残された鍵である。 げきつたまでが選手の最後のリキーユートが五拍子相まつて、どれだ。そと差FWでどの程度までカバー えて試合するのもアナドッテいる。スリーのコンビをとるリターンシ 優勝ねら53 C の1

京滋大會中止か?

来る二十七日行はれる予定であつた京滋大会 は滋賀県代表である打出中学校が、放火事件 により校内がもめているため試合に出場出来

ス

"y n

てくれるであろう。最後のモトジー思つた時には、得点がたた善出せ メモする女房役の野村幸にやや落一ず、そのまま、ジリジリと、押し 恐らく本大会にも、モノを云わせ一味つているようだが、サテツーと 心配されることものるが……大丈 | その得点が、大なり小なり、 軍荷 がする。また、他の試合にしてもされているだけに、決して楽韻は 切られ思信を握つているような締っろうか。しかし、まだ後半戦が獲 老欠いているようにも思われる。 となつて、気持をあせらせ、精彩は覚悟しなければならない。 当にかかわらず、高学年として の一投、一打まで、 頭脳的な試合 >…このようなことは、試合の テイームをはぼんでいくか、最後 出来ず、むしろ今までよりも苦戦 剣さが功を奏しているのでになか 力の差を最初から認めながらも、 行つて一丸となつて当つていく真 結局、納身攻法が何処まで相手

であろう。

ハンドボール部

ないものであるかは、治よくわか一どこの相とも期を争わなければな 試合というものがどれ程、活気の き立たせるのである。観象のいな一の上なしだ。 思わず力が入つて試合雰囲気を前一のか、弱き者にとつては、皮肉と みえる時、応援する生に踏岩も、一ないのは、クジ運からワイテいる 一生懸命建る、」ーという気触が一に比べて、三年生間の星つぶしが

る密であろう。 ▽…それにしても、一年生は実一與映光よびおとすものであろう。

らず、詩戦するだけ一段と後半の

マー理事長杯に近づくに従って

ソフトボール大會たけなわ

一栄の優勝カツブを受けた味わいが リコのオマケに似たようなもので一対戦したのだから、アワをふかさ (だからといつて、そう簡単にグ (これはみんな、余りそういつた 力セギに発しつかえはしないか、 つた有窓五人、それでSBノエと 負けた故に余叶心配になる。 イにつかまろうとしているようで れるのも無理のないこと。 したわけであるが、土曜日、父兄 少しアワレだつた。明日からの、 会のため先生の手がそろわず、年 全く、おぼれかかつた子供がク それに数員テイームも特別出版

ないから、イザーとなると、全く 連日の線管に、メギメキをの実力 腕をムズムズさせているのは。た | 和までは五回版でコールゲームな | 含ているので、ややアナドリ気分 しくピカーといわれる。中村時も一わけ、尚語極戦勝から七回戦、そ一えていても指手が何しろ一年生と 初得点を与えてやるといつた方法 合方法とは異なって、低学年に最 と何れも弟分にサーヴィスをする 欲員テイームは三年生と同じ、 二年生、三年生は二年生に2点。ホースとして大いに期待される。一志す省が五十人会運動部中一番多一チはりつはについているし、 | 年生と三年生の試合には、 | 試合の中、二試合まで金星をあげ 一年生と二年生の試合には一年 が、一年生と三年生の試合で、四 ている、1Aノエ、1Bノエの健

部である。グランドはあるレコー

競児を後半に交代させるととも考

HBは林·大枝、豊陽とFW型で

| 主じめな試合を見せてもらいたい | バットしないのは結局、二年間の らない態度であり、今後は、是非

クラス対抗が行われているが、極一るので、しのぎ差削る酸戦が限期 競技大会として、ソフトボールの一事長杯という栄誉がかけられてい とかなり試合がのびのびになって一貫つていただいたものであるが、 マ…去る六月七日より春幸校内一始めての催しでもあり、それに理一 そのカツブを選ぶのに一苦労… マ…との理事長杯は、つい般 る、大物ぞろいの3日の耳はまず 理率長杯候補の籐頭である。 ▽…組合せは次の通り(各ティ マ…一回戦は、ドウニカ一頭り ムの責任者によつて抽せん)

プと同じとは、とれ又素晴らしい は、それらしくないし)という わけで選ばれたのが天皇杯のカツ ▽一本大会は、普通行われる試

間は賞されてよく。全くそのまじれて練習が出来なかつたとともあ めさとネバリ明さをみせ、グーク一つた。とのようなことであつても マ…一般に三年生のテイームは「いとはおどろいた。しかしまじめ」はしたし何にも言うととろがない は……。交コーチのいないととも いつしよで名前をつらねるだけと テニス部のなやみでゆえにある「だそうである。

運動部のなや

他は五分五分といったととろだしの時間がかかる。かわいても間 まれて足あとでポコポコになつて るコートがない。今かりにあるコーれる。ネットだけは何んとかして それらの部にはかならず何にかのくれているのではなかろうか。次 なやみごとがある。それをここでにバレー部は? ート(広調と言うほうが流するか よつと降つてもかわくまでそうとスケットのプレイ場である体育 いる。これをなおすだけで目が暮 まいただけのであるので、雨がち もしれない)は普通の土地に砂を一は人材がたりない主将副主将がい ス部であろう。まず最も必要であ 拾いあげてみる。 本核には数種の強動部があるが一熱心に練習する着もその進光がお 一零なやみ事の大きいのはテニ みだしている。これにくらべてな やみのすくないのはハンドポール がないのであるからなるほどねと もらいたいものであるパスケット トの不充分であること等があげら 数より多いと言う変ったことそう うなづける。ポールの数が部員の るだけで選手は一人もいない。パ いした悩みはないがしいてあげる

「凡行でも、とにかく一量まで一つまれているのではないか。それ 喰い合いがタタツて進出する芽を ▽…そのわりに、二年生が余り 我と思わん者來れ 花を持ちたい者來れ 眞に志す者來れ

(申込は小西先生まで)

ーツ用品・文房具

井本運動具店

上京区一条通西大路西一町 TEL @ - 3210 (p)

雜誌 評論、 をの他にいいます。 原稿大募集

文藝部

論說、

應募者は門脇まで

团团

中国風を応用して「天竺様」とい ら出来るだけ簡単なもの本求め又いる。 まつた(一八〇)そとでその再 る。それは四武天皇が建てられた となっている。これを七層肘木と た。当時資金が少なかつた関係か 東大寺は平山仮の為に焼失してレ 門金体は含わめて荒けづりであ 言う、肘木とは腕木の事である。 つづつ一列に重なつて一つの支え いる。よく見るとそれは腕木が七 化をその仮に残している。南大門 してくる。おもそうた屋根の真伽 延が鎌倉時代のはじめに行なわれ に目をとめると無数の腕末が出て 兵火からまぬがれて、天平時代交 不空に線索調音、日光、月光 方に出て屋根を支えている。単内 る。又、財木と呼ばれ、腕木が三 静かな暗じである。その特徴は双 が活気的なのに対して、含わめて には天平彫刻の代表作である本頭 る法障堂(三月堂)は、その時の 営形式と言われ、本堂と礼堂とが 一つの砂物となっていることであ

んな問題をおすれ

容闘等の高雅な仏像が安置されて (絵・本田

(文・宮崎瑞夫) 想

第七号(昭和二十八 「 忘れ易い」とかいう理由は、果一ているとも見られる。これも考え | 並記しているのが、やはり読みに

> とそれになりたい 良いととろがある

と思つた事がある

るべき問題を含む。つまり私は、

くいであろうと思われることであ

文法において最も類似し、文学に一の文字との比較という面から、第一な役に立つことと思われる。この く考えたい。「カタカナガキ」や一つとよく考えてはつきり述べても一え、すぐれたローマ学表記法学家 らいたいということを、第一に他 ローマ字を積極的に推す理由をも まだまが考えればならないのであ 出されるならば、以ず将来、大き る。これらについてなお改めて考 の表記法、同音異義語の問題など 「チャ」「チュ」「チョ」、長音 他、三派君の触れなかつた問題も 一般、わかち書きの問題、外来語 田あつて仲々簡単ではない

送りたいととろだ。 重せよ」ということは老三、浴者に 普風は含い方楽れば、「好淡自 ばで書く努力をする、という根本 ならぬことに気耐くだろうと思う 長く高いととについても考えれば そして少数の人間の使うととはで 世界的に見て日本語が相当時殊な 的な問題にぶつかるだろう。又、 り、しかめその文化的な伝統が 島の考えを以つて、古いやり万や らず、脳君が、常に新しい自分自 紅児を述べてみた。三巻目のみな かにされるだろう。専門的な普述 から、その成果はやがて一部明ら 男の販売と成長を待つている。 も相当に多く、三祭君その他の諸 習慣的な形式に対して批判を加え 私は、どく竪点だけについて、

質すべきであろう。難点を言えばととが少かつた為に、余りとりあ クールの小学校には設けられて、 後は非常に盛んで、小学校であ口 あつた為と、交化上の問題となる 本に入つて来たころは、短期間で げられなかつたが、明治の初めか ローマ字がキリスト数とともに日 マ字のみの実験数室が、モデルス ーマ字教育がとりあげられ、ロー

奈良の代表的な建物である東大
う新しい様式を採用した。その結 となつた。 果あのように活動的な力強いもの ととろで同じ東大寺の境内にあ つい 7 て「お前将来なにになるのや」 その時その中の一人が僕に向つ というととを話し合つていた。 六人が集まり将来なにになるか

門である。南大門はその堂々とし 寺へ行く。まず目につくのは南大

東大寺の建築に

た磁を、常々しい力で致々を田泊

る。その時からずつと今までそと思うからである。何政ならば ときいた。僕はまだこのような てよいのかわからなかつたから 「将来必ず大人になつて」みせ 質問は生れて始めてでどう答え ると答えて大笑いしたことがあ うのは僕では医師がつとまらん これにはわけがある。わけとい は襲剤師になろうと思つている いる。もし医薬分業になれば僕 年まで保留というととになって かれてあつた。これは昭和三十

4E C 組 3 禧 久 郎

々本を読んでいて

わけではない。時 然忘れてしまつた だからといつて全 てしまつていた。

に金売もられる。そして又、 よいし「あんまつかみどり」 は、「均主まるもうけ」とれは い上回つた。又或人の語によれ が後で考えてみると楽しみがな か良いなと思つた。何放ならば これも、肩をつかむのと同じ様 口で採信の納含をいつておれば、将来の仕事を耳動に考える時が いう言葉を含いたとれもなかな ただ。出つておれば金をもらえる 名位三日したらやめられん」と くると思う、その時までとの問 関は制上げにしておこうと思 ます。しかし、そのうちに私の なんにも考えていないのであり ぬからである、だから私は法だ るのは意志の強い人間にはなれ なぜならば哲労もせずに薬をす 継にしようとも考えていない。 ない。交叉は僕を今の仕事の後 やくにさわつてなら

てローマ学の教科告を従っている 国学問題の本質(松坂心則)そ 語国学問題の歴史(平井昌夫) (背田改英・井之口有一)、国

辻 と思つている。どう 見つけそれを直そう ととがある、これは 岩になろうと考えた らである。又時々医 つとだけ歌ろしいか メスキもつのがちよ も僕はこの病気がし 小見まびの病源体を

西尾敏彦君(空野)に努力賞 子供寫生会において

れた西暉少年 補導委 員会 主催の 賞」 ※獲得した。 二年C組の西尾級彦君は五月三十 | 「子供写生大会」において「努力

かけて、にわの緑の間に、白、赤一に生けられて、ともかくも自分の 便命をはたしたように、残つてい の間に、茶の間に、そして手洗湯 た花も、こけ茶色に変色してしま 顔をしているのは、榕である。床 その後で、ちよつと休憩という

ようである。 らわつている。溜木ではあるが、 郷子(なでしと)がかわいそうな 樹に大きく面積を取るので、傍の 宅にはこの英學の太が四、五本

難必切つて、顕微鏡のデツキグラ ている。これも英容とならんで宅 め)がつばみを剣状の葉の間から スの上へしばしばのせる。 の庇では、古風である。私はこの 宵をすとしかたむけたように見せ その機には、国孫(はなあや 知らせてくれる。

多催して、女の丹精のたまものあ 踏んだり、折つたりしてよくしか 道大会(早く言えばチャンパラ) とろ、庭で友達をよんで来て、剣 して庭を多彩にしていく、小さい ら、がくそう、木植(むくげ)等 変化の夢を買ったり、

もらったり まり目がない母は茶をやる関係が も底におりたつこともあるが、あ わが家の庭園係は出である。私 りさまです。

立美くしい新聞。楽しい新聞。心 のこもつた新聞……。編集者の 夢はつきないのです。本号につ

られた。

校の生促離士。すべての人は有 大けさですが、突は賭事きわめ してください。ほかならない本 状です。どうぞどなたでも加勢 は来れ新聞館へ。などというと て多忙、目を白思させている現

制

毎度ありがとうございます

TEL 2 10254 京都制服衣料工業協同組合

三卷君の説について マ字を國字とせよべてい

本的な点において三巻岩の脳白体 | に識字運動を配して漢字を大殺に 述べられないので、主として、根一中共の教育政策を見れば、全国的 を批判してみたいと思う。 敬えている。いずれも、言葉の伝

「むずかしい」とか、「統、その文字の課さの伝統を数え」。い(シュ)のように母音を二つ

れるととと、態音を、は(キャ)

などの、符号がいさざか多すぎて

恐らく実用に不便であろうと思わ

いから、ローマ字書きにしようと 論はこつにわかれ、第一は

日本語表記における文字は忘れ易

いうこと、第二はその具体的な表 | 語にせよという説が成り立つかど | 抑えて、明確に述べている態度は ヴィエート連邦の各民族の需語は 同じ理由だけで、英語を日本の国 するのだと思うが、それならば、一すべてを同して表記法を明らかに から、それを当然で自明の理由と一説では、国語にあらわれる発音の 文字であるととは言うまでもない。はならないととである。三奏者の 現代世界に最も広く流通している。大喜な問題として考えられなけれ 「ha7 など「,」「・」「7」 してはいないが、その重要な点を Cillalli [v

について徹底的に論識したいが、一スターリンの言語側によれば、ソ 記法である。私は今、このすべて一うか。とれも考えねばならない。 んでいない点もあつて、十分には一それたりに認められるべであり、

とするがいい。」

No. 9 紙数のゆとりもないし、考えの及

ワはは、ヴは文、ハツはお、

TE

siu ju ·s·su·se·so·ヤ行はja ca ci ci cc co、 が行は、sa たい。その皆等方は、カ行は 物 cia ciu cio sia

ローマ学にすれば忘れることは ないから、国字はローマ字にし

「日本語は、字がむずかしいの

ることができる理由を、明らかに にすること表現極的に推しすすめ 利な文字を作り出したらどうか。 全く新しい、そして世界で敗も仮

彩厅

これらに対して、国字をローマ字」よう。これは、明治以来、国語を しなければ、三番君の説は、根拠一にされるととであつて、「ローマー疾るだけ近く。わかりやすいとと

チツは

に、ツッは

は一が

思いであろう。

勿論ローマ字が、字

写字論」とは

別にしても、

交幸術せて、次のように論じた。

「語文」はどうか。あるいは又一べたのである。

おいて非常に科学的な朝鮮語の

毛は「ローマ字につ」めるべき理由になるかどうか、よ いて」という短い論 「ひらがたがき」ではどうか。又 して根本的に国字をローマ学に敬

ローマ学で引く時に、いつも問題 になつたことであり、今でも問題 ローマ学表記の方法について考え 二に言題の伝統という面から、述 次に三年君の殿の第二の要点、 る。更に進めば、話しことばに出

ローマ字の論議は、室町時代に 引の論文に讃意を表し、ささやか 楽、頭く期待しているのである。 うに、日々の努力を積まれること よりよぎ方法と形態を作り出すよ

な批判を記した次第である。 (参考書) ローマ字国字論(田 (田語間盗会)、田字問題の研 (同)、ローマ学調査会議事録

その一つのあらわれとしての三巻一つた事を淋しく思つて活る。今を 丸卓郎)、ローマ字文の研究一が今は昔しの物語りの様に…… 一)、国学国際改良論院年表一つて来た、此のちぢまつた理由と 一去る六ケ月程前、飛電を利用して やそれどころではなくなつて来た して我辈の朗(台)の上であばれ 最近は現墟の命がいよいよちぢま くれる者は散器後先きをあらそつ て浅壁の前で熟読な論戦があつた

授稿を待つている。

はいつている、又、韓龍名を広

く孫類することになり、多数の

な夏の収穫を本紙のためにお寄 定です。どうぞせいぜいゆたか

小学校の頃であつた校庭で五 「医薬分業」について
記事が
響 三日まえのこと、新聞を読むと い」という言葉もある。又二、 「慈九そうばい」「花八そうば

晩春の庭 二年日紅(10)

> 差みとめられるようになった。 命をつないでいた水引率も、存在

の郷が形を整え初めた。 の色をそえる英質の木にも、質緑 見休みの中頃から九月の終りに

ら、その数を会してゆく。 が、はえのぼり、風にゆられなが いろいろな形でわれわれの感覚に 底に面している隣のへいにつた このように自然は夏への準備を

晓春の底の風情がよく出

編集室だより

☆以来二河間。部員一同、音息吐 合例年よりも古くやつてきた今年 息。アアでもいかん。コオでも いかん。あげくのはてがとのあ 囲されたのが本号です。 ール原所の消報、このような学 を破つてもたらされたハンドボ の極明。そのうつとうしい気分 間をあげての欲びにこたえて企

との間まで、飛石の影に細々と いてお気づきの点はどうぞお敷

我輩は雨天体操場のすみにある一にお願いする次第だ。

我輩は卓球台である

強い体発作り上げてくれ。それを 生紀諸岩よ!!との我衆を利用し 生徒から原稿つのる

置かのだ!!

使うために取り合いを演じなくな するという事である。最近残職を というととは健う人の体を丈夫に して飲しい。我駐売使つてくれる 卓球台である。浅豊老大いに利用

文藝部雜誌発行

徒の中からの没稿を待つている 認施発行することに決定し、生 番少なく、予想外だと交換部で 現在までの投稿数は三年生が一 交芸部では、今度新しく交芸雑 合館十号は新学期早々に売刊の予 ☆衣がえ。夏は若人の舞台です。 みなさん。夏休みの計画はいか 山に湧く雲。海に浮かぶヨット

みなさまの御制服をあつかう